

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月30日

計画の名称	熊本地震復興のための、災害に強く安心安全に暮らし学べる道路づくり(防災・安全)												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成31年度 (3年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	熊本県												
計画の目標	平成28年熊本地震からの復興を図るため、災害が起こっても安心安全に暮らし学べるよう、通学路交通安全プログラム該当箇所の整備を推進し、安心して希望に満ちた暮らしを創造する。また、災害発生時に防災拠点となる学校施設への救急・救援物資の輸送や、復旧活動等を円滑に行えるよう、通学路整備とあわせて緊急輸送道路網を強靱化し、災害に負けない交通基盤づくりを推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,947	A	3,947	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初		H31末
1	通学路の緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムによって抽出された要対策箇所について、あんしんして通学できる道路の割合(あんしん通学路整備率)を77%(H29)から80%(H31)に改善。 通学路の緊急合同点検によって抽出された要対策箇所に対する、対策済み箇所数の割合を算出する。 あんしん通学路整備率(%) = (整備数) / (通学路数)	77%	%	80%
2	災害発生時の拠点間の所要時間の短縮(30分 25分) 災害発生時の拠点間の所要時間(単位:分) 所要時間 = (整備延長 ÷ 設計速度 + 未整備延長 ÷ 旅行速度) H22センサス旅行速度	30分	分	25分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(主)山鹿植木線(北谷工区)	新設・バイパス	山鹿市						686	-	
	A01-002	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(主)水俣田浦線(福浦2工 区)	現道拡幅	津奈木町						725	-	
	A01-003	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(主)水俣田浦線(福浦工区)	現道拡幅	芦北町						785	-	
	A01-004	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(主)水俣田浦線(福浦3工 区)	新設・バイパス	津奈木町						660	-	
	A01-005	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(主)水俣田浦線(湯の児工 区)	現道拡幅	水俣市						23	-	
	A01-006	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(主)錦湯前線(一武工区)	新設・バイパス	錦町						250	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-007	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(主)人吉水上線(黒肥地工 区)	現道拡幅	多良木町						200		-	
	A01-008	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(主)小川泉線(落合工区)	新設・バイパス	八代市						293		-	
	A01-009	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(主)南小国波野線(山鹿2 工区)	現道拡幅	産山村						325		-	
											小計						3,947			
											合計						3,947			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより抽出された対策必要箇所の整備を進めたが、一部事業において用地取得等に不測の期間を要し、目標達成に至らなかった。

令和4年3月

公表の方法

熊本県ホームページにて記載

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・通学路緊急合同点検において要対策とされた箇所の対策を推進することにより、通学路の交通安全が図られ、登下校中の児童等に対して安全安心な通学路の実現に寄与した。また、災害発生時に防災拠点となる学校施設への救急・救援物資の輸送や、復旧活動等を円滑に行えるよう、通学路整備とあわせて緊急輸送道路網を強靱化し、災害に負けない交通基盤づくりを推進した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

・用地取得の困難等による不測の期間を要したことから計画期間内に完了しなかった事業については、令和2年度以降の計画へ移行し、より一層の事業推進を図り、早期効果発現を目指す。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	通学路の緊急合同点検の要対策箇所における対策済み箇所数の割合（％）	
	最終目標値	80%
	最終実績値	88%
2	災害発生時の拠点間の所要時間の短縮（分）	
	最終目標値	25分
	最終実績値	26分